



北山商店の上間全弘さん(左)と常連のお客さん

世界遺産、今帰仁城の麓にある今帰仁村今泊。フクギ並木や馬場跡が残る静かな集落に、今年2月、新築リニューアルした老舗マチヤグワールがあると聞き訪ねた。

海洋博公園から北へ車で10分足らず、白い漆喰(しつくい)とのコントラストが鮮やかな赤瓦屋根が3つ並ぶ「北山商店(ほくざんしょうてん)」が見えてきた。

「以前は戦後間もない60年前に建てられたカワラヤーだったんですよ」

北山商店を営む上間全弘(まさひろ)さん(68)。かつて酒造会社で営業などを担当していたが、当時、酒類の御販売を兼ねた商店が経営



眞喜志 敦
(共同売店ファンクラブ)

新しくも懐かしいマチヤグワール

幸い今帰仁グスクや海洋博公園などの観光地も近く、古宇利島のドライブコースも人気で観光客も多く通る場所にある。地元の利用客に加え、それら観光客も取り込むことができれば。そう考え、知人を通じて新店舗の設計を相談したのが、建築家の福村俊治さんだった。

県平和祈念資料館はじめ多くの公共施設を手がけてきた福村さんは、県外出身者として、沖縄の建物や風景が本土と同じようなものば

人をひきつける風景

難で何とかならないかと相談され、引き受けることに。今帰仁城の別名、北山グスクにちなみ「北山スーパー」と改名し経営を再建、地域密着の店として24年間歩んできた。

「道路の拡幅にかかって、建て替えか、コンビニにするかということになったんです。大手スーパーも進出し、マチヤグワールが生き残るのは大変。長男がいなかったらやめてましたね」。実際にコンビニチェーンの営業に相談し出店調査してもらったそうで、「コンビニにすれば楽ですが、品ぞろえも一変する上、お年寄りには困るだろうし、長い付き合いの取引先や、野菜を持ってきてくれる地元農家にも申し訳ない」



天井の太い梁(はり)がひときわ目を引く

泡盛に関してはプロの上間さん。品ぞろえはさすが

地域の新たなシンボルとして
地元野菜や特産品も充実

ほくざんしょうてん
今帰仁村今泊168
☎0980-56-5420
営業時間=6時~24時
定休日=なし

共同売店ファンクラブ
☎090-1850-2829



かりになるのを危惧してきたと話す。「フクギや赤瓦などの風景を生かすことで、これまでのお年寄りや地域の人のよりどころとなるだけでなく、本土からの観光客や中南部の人向けにも”売り”になると考えました」。

上間さんの次男、睦人(よしひと)さんも、その「風景」にひきつけられた一人だ。当初、上間さんは隣のスペースを誰かに貸し、食堂でもしてもらおうつもりだったが、「設計のデザイン画を見た瞬間、息子は止まってしまい、なんと自分がやりたいと言いだしたんです」。現在、睦人さんが菓膳レストランの7月4日オープンに向け準備を進めている。

「施工は全て地元の知り合いの業者。地元だけでもこれだけできるんですよ」と上間さんは胸を張る。60年後も誇れる風景に向けて、マチヤグワールの新たな一歩が始まる。